

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
専攻実技 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	尾崎/Mariya/横山/大山			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
授業概要											
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。											
到達目標											
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。											
授業方法											
なるだけ少人数制のグループで授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	音符の長さ、読み書き1										
第2回	音符の長さ、読み書き2										
第3回	音符の長さ、読み書き3										
第4回	Cを中心としたスケールを理解させる1										
第5回	Cを中心としたスケールを理解させる2										
第6回	G Fを中心としたスケールを理解させる1										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
専攻実技 1	
第7回	G Fを中心としたスケールを理解させる2
第8回	G Fを中心としたスケールを理解させる3
第9回	2, 3度①
第10回	2, 3度②
第11回	4, 5度①
第12回	4, 5度②
第13回	6, 7度①
第14回	6, 7度①
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。